

団体名：普賢寺ふれあいの駅
代表者：山下 壽一
所在地：京都府京田辺市普賢寺

〔ポイント〕

季節収入だけから年間を通して収入が得られることを目指し、月3回開催していた朝市を常設とし、平成14年に新たに地元普賢寺の生産者と都市住民が互いに語り合い、理解を深めて「普賢寺ふれあいの駅」を設置。

【活動内容】

- 1．普賢寺ふれあいの駅では、訪れた消費者に座って休めるスペースを確保し地元で生産したお茶の接待を行うなどお客様とのふれあい空間の設定。
- 2．定年退職者の就農や高齢者、小規模の農家に売れる品目づくりなどの実践を推進し、直売所に出荷が促進されている。
- 3．生産者が作物ごとの生産計画を年2回提出し、計画と実績の点検・検証を行う。消費者の動向を確認し、新たな作付、加工品の開発に取り組む。
- 4．花見や茶摘み、夏の地蔵盆など地域農産物及び料理の伝承・普及に取り組む。消費者や子ども達への地域農業や地域農産物、郷土食への理解を促進。
- 5．地元のレストランなどへの定期的な食材提供。
- 6．栽培履歴の記帳を徹底など、環境にやさしい農業を実践して食の安全に取り組む。その他、「普賢寺ふれあいの駅瓦版」の発行。

【活動の成果】

「普賢寺ふれあいの駅」での女性の笑い声が絶えず、また、元気な高齢者が多く、地域に活気がある。

また、本地域の女性は、地域の農業振興に積極的に関わり、女性のノウハウや経験、意見を反映したむらづくりに取り組んでおり、女性を中心とした活動が展開されている。

地域の全ての生産者が地元の児童たちをはじめとする地域の方々に物づくりを通しての命の大切さや四季、旬の大切さ、農村の暮らしと文化、食の大切さを体験、交流を通して知って欲しいとの思いを持って「普賢寺ふれあいの駅」の会員として一つになって 取組みが続けられている。